

産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会
二酸化炭素貯留事業等安全小委員会
CCS 事業技術基準検討ワーキンググループの設置について

令和7年10月9日
鉱山・火薬類監理官付

1. ワーキンググループ設置の目的

CCS事業において用いる工作物の技術上の基準の解釈例(具体的な基準の例示)については、導管からのCO₂の漏えいに対する保安措置など、CO₂の特性を踏まえた詳細な基準を新たに議論・策定する必要がある。有識者等の技術に係る専門的な見地からの意見を得つつ解釈例の策定を行うため、二酸化炭素貯留事業等安全小委員会の下に、学識経験者、研究者等から構成される本ワーキンググループを設置する。

2. スケジュール(案)

- 第1回(10月24日)
導管輸送工作物に係る解釈例の方針や参考となる既存の基準等を事務局から説明し、導管に関する規格を策定している民間団体等からヒアリングを実施するとともに、論点等について審議
- 第2回(11月から12月)
事務局が作成した解釈例の方向性案について審議
- 第3回(1月から2月)
事務局が作成した解釈例案について最終審議

3. 委員構成(案)

氏名	所属
澁谷 忠弘様	横浜国立大学 総合学術高等研究院 教授
川畑 友弥様	東京大学大学院 工学系研究科 教授
廣本 祥子様	国立研究開発法人物質・材料研究機構 構造材料研究センター 材料創製分野 耐食材料グループ グループリーダー
小野 恭子様	国立研究開発法人産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター 副研究センター長
北村 龍太様	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 エネルギー事業本部 CCS 事業部 部長